



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL <https://www.showa.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 日野宏昭
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 尾島孝則（TEL）092-933-6390
 半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	6,321	△0.5	330	△17.2	468	4.2	308	13.4
2025年3月期中間期	6,352	3.8	399	118.6	449	56.5	272	40.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,171百万円（—%） 2025年3月期中間期 △292百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 374.80	円 銭 —
2025年3月期中間期	330.44	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,061	10,383	51.8
2025年3月期	19,421	9,311	47.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 10,383百万円 2025年3月期 9,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 配当金内訳

2025年3月期期末 普通配当50円00銭 特別配当70円00銭

2026年3月期期末（予想） 普通配当50円00銭 特別配当50円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	5.4	980	△18.7	1,100	△18.0	750	△28.4	910.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	897,000株	2025年3月期	897,000株
2026年3月期中間期	73,344株	2025年3月期	73,192株
2026年3月期中間期	823,716株	2025年3月期中間期	823,902株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資等を背景に緩やかな回復の動きがみられました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響や工事の担い手不足による工事遅延、米中貿易摩擦に伴う世界経済の下振れリスクなど、楽観視できない状況が続いております。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的
社会への一翼を担おう！」を掲げ、2025年度に連結売上高145億円以上、連結売上高営業利益率5.3%以上を実現するため、

- ・事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)
- ・組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)
- ・ライフサイクル型事業の推進
- ・サステナブル新商品の創出

の重点課題に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は63億2千1百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は3億3千万円(前年同期比17.2%減)、経常利益は4億6千8百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億8百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器のエアハンドリングユニットが旺盛な建設需要を背景に大幅に伸長したものの、サーモデバイス機器について利益率の高い小口案件が減少しました。

その結果、当事業の売上高は34億6千5百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は2億2百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品について前期からの繰越工事が多く好調に推移したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

その結果、当事業の売上高は8億3千7百万円(前年同期比16.9%増)、営業損失は3千9百万円(前年同期は営業損失1億5百万円)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、前期において大口の空調設備・給排水衛生設備工事案件があったことによる反動減により、前年同期比で減収となりました。

その結果、当事業の売上高は20億1千8百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益は1億6千8百万円(前年同期比36.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千9百万円増加し、200億6千1百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が10億5千9百万円減少したものの、商品および製品が3億8千5百万円、仕掛品が3億1千3百万円、投資有価証券が12億1千8百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億3千2百万円減少し、96億7千7百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が5千9百万円増加したものの、電子記録債務が2億7千1百万円、未払法人税等が8千2百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億7千1百万円増加し、103億8千3百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が8億5千9百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億2千万円減少し32億6千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は4億7千5百万円(前年同期は5億1千7百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益4億6千8百万円、売上債権の減少額11億6千1百万円による増加と棚卸資産の増加額6億9千3百万円、仕入債務の減少額2億1千1百万円による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果支出した資金は4億2千8百万円(前年同期は2億8千6百万円の支出)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出4億2千6百万円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は1億6千7百万円(前年同期は1億8千8百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額9千8百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日公表時から変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383	3,263
受取手形、売掛金及び契約資産	2,762	1,703
電子記録債権	1,646	1,544
商品及び製品	298	683
仕掛品	1,223	1,537
原材料	655	650
その他	28	25
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	9,995	9,405
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,584	1,584
その他(純額)	2,192	2,185
有形固定資産合計	3,777	3,769
無形固定資産		
	88	97
投資その他の資産		
投資有価証券	5,215	6,433
その他	359	369
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	5,560	6,789
固定資産合計	9,426	10,655
資産合計	19,421	20,061
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	887	947
電子記録債務	1,556	1,284
短期借入金	3,250	3,225
未払法人税等	170	88
その他	1,688	1,214
流動負債合計	7,553	6,760
固定負債		
長期借入金	25	—
退職給付に係る負債	1,181	1,172
繰延税金負債	925	1,338
その他	423	406
固定負債合計	2,556	2,916
負債合計	10,109	9,677

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	3,568	3,778
自己株式	△131	△131
株主資本合計	6,304	6,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,755	3,614
退職給付に係る調整累計額	251	254
その他の包括利益累計額合計	3,007	3,869
純資産合計	9,311	10,383
負債純資産合計	19,421	20,061

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,352	6,321
売上原価	4,655	4,594
売上総利益	1,697	1,726
販売費及び一般管理費	1,298	1,396
営業利益	399	330
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	149
その他	12	18
営業外収益合計	106	167
営業外費用		
支払利息	18	24
為替差損	28	—
その他	9	5
営業外費用合計	56	30
経常利益	449	468
税金等調整前中間純利益	449	468
法人税、住民税及び事業税	67	106
法人税等調整額	109	52
法人税等合計	176	159
中間純利益	272	308
親会社株主に帰属する中間純利益	272	308

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	272	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△574	859
退職給付に係る調整額	9	3
その他の包括利益合計	△564	862
中間包括利益	△292	1,171
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△292	1,171
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	449	468
減価償却費	136	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	△4
受取利息及び受取配当金	△93	△149
支払利息	18	24
売上債権の増減額(△は増加)	1,236	1,161
棚卸資産の増減額(△は増加)	△388	△693
仕入債務の増減額(△は減少)	△311	△211
その他の資産・負債の増減額	△375	△217
その他	1	0
小計	683	540
利息及び配当金の受取額	93	149
利息の支払額	△19	△23
法人税等の支払額	△239	△190
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△288	△426
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286	△428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50	△50
配当金の支払額	△115	△98
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△22	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	△167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42	△120
現金及び現金同等物の期首残高	3,243	3,383
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,286	3,263

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。